



漁業振興について

問 現在、山武市にはハマグリ漁師が約130人おり、先駆けて古くから皆が協力し合い、資源保護(稚貝放流、漁獲数量・時間・漁期の制限など)に取り組んできました。

ハマグリは、山武市の名産品であり、全国に誇れるものであると思いますが、本市のふるさと納税の返礼品における海産物の取扱状況を伺います。

答 総合政策部長 現在、ハマグリとナガラムミを本市の返礼品として提供しており、その寄附件数は1601件、寄附受入額は約1653万円(令和6年度実績)と大変好評をいただいています。

九十九里産の新鮮で良質なハマグリは、本市の人気トップ3に入る返礼品として、リピーターも非常に多く、これは地元漁業協同組合および事業者の皆さまのご協力のもと、山武市の魅力的な海産物が広くPRできています。

じています。

問 漁業組合では、貝類密漁防止協議会を開催し、近年、特に密漁防止に努めています。また、ドローンによる密漁監視パトロール等、山武警察署とも協力して取締りを強化しています。山武市にとって、漁業は決して軽視すべきものではないと思いますが、漁業に関しての今後の市の考えを伺います。

答 市長 漁業は、山武市にとって地域の魅力アップする産業であると認識しています。

今後、観光をはじめとした他の産業とともに成長していただければと考えており、必要な支援等について、しっかりと検討していきます。

答 産業振興部長 令和5年度には、漁業者との意見交換会を開催しました。そして、今年度は、市内海岸での海産物資源を守るため、ハマグリ等の密漁防止対策の活動支援を目的とした補助金の交付に向け、準備を進めているところです。



【その他の質問】▼市の公式LINEの活用状況および登録者増加のための取り組み

開かれた議会へ 令和6年度 政務活動費の執行状況を公開

政務活動費とは

議員が市政に関する調査研究費等に資するために必要な経費の一部として、会派に対して交付されるものです。

山武市議会では、条例により、議員1人あたり月額15,000円が交付され、年度末の精算により不用額は市へ返還します。

資料公開中

各会派の収支報告書および領収書等の関係書類は、市議会ホームページで公表しています。



令和6年度 政務活動費収支状況一覧

(単位：円)

会派名	交付額【A】	支出額							市への返還額【A-B】
		調査研究費	研修費	広報費	資料作成費	資料購入費	その他経費	計【B】	
新政会(6人)	1,080,000	194,560	0	358,320	0	0	3,000	555,880	524,120
誠和会(5人)*	600,000	347,983	20,000	0	0	0	8,238	376,221	223,779
公明党(3人)	540,000	0	186,766	0	8,163	79,310	0	274,239	265,761
SAMMU知新(3人)*	360,000	0	0	0	0	0	0	0	360,000
日本共産党(1人)	180,000	0	0	0	0	0	0	0	180,000
新しい風Sammu(8人)*	1,440,000	38,397	96,800	0	0	0	2,000	137,197	1,302,803

*年度途中で解散または結成した会派であるため、月割計算して算出した交付額となっています。